

東京大学での所属学部/研究科・学年(プログラム開始時): 教養学部文科二類二年

参加プログラム: IIS-ISP

派遣先大学: University of California, Berkeley

卒業・修了後の就職(希望)先: 民間企業(業界:消費メーカー、コンサル)

派遣先大学の概要

カリフォルニア大学バークレー校。カリフォルニア州のサンフランシスコから約30分にある学生街に位置する。州立大学で、学生数は多いものの、教育レベルは非常に高い。学生運動の発祥地として知られており、キャンパス内のSproul Hallでは、頻りに学生によるストライキなどが行われている。

留学した動機

進学振分けで専門を決める前に、一度海外の高等教育を受けることで、より広い視野をえたいと考えたため。

留学の時期など

- ①留学前の本学での修学状況: 西暦[2014]年 学部[2]年の[夏]学期まで履修
- ②留学中の学籍: 休学
- ③留学期間: 2013年8月～2014年5月 学部/修士/博士[2]年時に出発
- ④留学後の授業履修: 西暦[2014]年 学部[2]年の[冬]学期から履修開始
- ⑤就職活動の時期: 西暦[2016]年 学部[4]年の[4]月頃に(行った/行う予定)
- ⑥本学での単位数: 留学前の取得単位[78]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[0]単位
留学後の取得(予定)単位[78]単位
- ⑦入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[2012]年 [4]月入学 西暦[2017]年 [3]月卒業/修了
- ⑧本学入学から卒業/修了までの期間: [5]年[]ヶ月間
- ⑨留学時期を決めた理由:
留学開始半年前

留学の準備

- ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
東京大学での審査を通過後、数日で派遣校からの許可がおりた。
手続きが直前まで終わらなかったものの、無事授業を開始できた。平常心でいるといいと思います。
- ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
面接の予約などあるため、ビザはできるだけ早くとるといい。
- ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
湿度や気温の変化が激しい場合、体調を崩しやすくなるため、風邪薬など、きちんとそろえるといい。
日本で服用している薬が海外では入手困難である場合が多い。
- ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
AIU保険に加入。
- ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
なし
- ⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
なし
- ⑦日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
インスタント食品。(現地入手も可能)

学習・研究について

- ①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。
PS143B Japanese Politics, PACS119 Special Topics, LGBT10AC Alternative Sex Identities
French2, CW, PS149 Southeast Asian Politics, UGBA167 Marketing
- ②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)
LGBT10AC。東京大学では扱われることの少ない、LGBT(Lesbian, Gay, Bisexual, and Transgender)に関する授業。マイノリティーとして生きることがどのように個人の人生に影響を及ぼすか、またその家族や友達との関係のあり方など、充実した内容だった。
- ③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など
授業数は3つから4つ。勉強量は増えたものの、毎日机にずっと向かっているほどではなかった。

④学習・研究面でのアドバイス

エッセイの課題が多く、いかに自分の主張に説得力をもたせるか、より明快な論理でそれを表現するかの訓練になった。よりシンプルな自分の主張をもつことを日々続けるといいのかもしれないと感じた。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

教授のいっていることがわからないことがよくあった。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

プログラムで指定された国際寮。(International House)ルームシェアは最初うまく行かず、喧嘩が多かったが、お互いの妥協、改善を通じて解決することができた。寮費はととも高かった。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

治安は一般的なアメリカと同様。夜外を一人で出歩くのは危険。地下鉄も深夜は危険。お金はクレジットカードで少し高めのは買い、他は現地で作った銀行口座を通して購入。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

日本人の友達もいたため、よく健康状態については、お互いにチェックし合うようにした。

④奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSOの奨学金を月額80000円支給していただいた。

⑤学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

剣道部での稽古、LGBT団体への参加、また、休日はLAやNYなどを旅行した。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

留学生用のコミュニティが整備されていたように感じた。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

プログラムの性質上、スポーツ施設などは少し多く費用がかかったが、施設に関してはとても充実しており、使いやすかった。

留学と就職活動について

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

将来アメリカで働きたいという思いが強くなった。就職という選択肢はあくまで数あるものの一つであるという捉え方がより強くなった。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

英文での履歴書をつくった。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) 3.公的機関(機関名:)

4.非営利団体(団体名又は分野:) 5.民間企業(企業名又は業界:)

6.起業(分野:) 7.その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

思考が明快になった。自分のアイデンティティがより明確になった。将来自分がやりたい、そしてやるべきことがわかった。

②留学後の予定

夏の間は上海で二ヶ月半ほどのインターンシップへ参加。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学での所属学部/研究科・学年(プログラム開始時):

参加プログラム: IIS-ISP Program

派遣先大学: University of California Berkeley

卒業・修了後の就職(希望)先 5.民間企業(業界: 政府系金融機関)

派遣先大学の概要

カリフォルニア大学の中でも最も歴史があり、バークレーというリベラルな町に位置し、人種、思想の多様さでは米国1と言える大学です。

留学した動機

アメリカのトップスクールで1年間頑張った経験は自分の自信に繋がると考えました。また、人生の岐路にいて、就職前に自分の価値観が変わるような経験をしたいと考えていました。

留学の時期など

- ①留学前の本学での修学状況: 西暦[2013]年 法学部[4]年の[夏]学期まで履修
- ②留学中の学籍: 休学
- ③留学期間: 2013年 8月 ~ 2014年 5月 法学部[4]年時に出発
- ④留学後の授業履修: 西暦[2013]年 政治学部 秋学期から履修開始
- ⑤就職活動の時期: 西暦[2013]年 留学中[2013]年の[11]月頃に行った
- ⑥本学での単位数: 留学前の取得単位[72]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[24]単位
留学後の取得(予定)単位[20]単位
- ⑦入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[2010]年 [4]月入学 西暦[2014]年 [9]月卒業/修了
- ⑧本学入学から卒業/修了までの期間: [1]年[6]ヶ月間
- ⑨留学時期を決めた理由: 少し無理のあるスケジュールでしたが夏学期の試験が受けられなくても単位数が足りていたため、半年間の休学で二学期間の留学をすることにしました。

留学の準備

- ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
I-Houseは早めに予約した方がよいです。3、4階はうるさいので選べるなら5階より上がいいと思います。
- ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
大使館は早朝からとても混んでいるので本を持って行くことをお勧めします。ビザは1週間ほどできます。
- ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
特に行ないませんが、冬の一時帰国の際行なった健康診断でコレステロール値が高くて驚きました。
- ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
保険はプログラムに含まれているので特に準備は必要ありません。
- ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
法学部の試験期間が9月で、レポート等の代替措置が受けられず、試験は受けずに出発しました。
- ⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
ぎりぎりの語学力しかありませんでした。語学関係の準備はTOEFLの勉強をしていました。
- ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
ベッドシーツや枕など、できたら持参した方がよいと思います。

学習・研究について

- ①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

PS5 International Relations

PS123A Gender and Human Rights

PACS112 Navigating Culture

LS139 Comparative Perspectives of Norms and Customs in Legal Traditions

LS168 Sex and Reproduction in Law

PS124 International Political Economy

すべて行なう予定です。

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

全てReadingの量がとても多く、特に、Political Scienceほどの科目も平均75ページ毎週くらいでした。すべて読んでいると時間がなくなってしまうので、重要なところだけを拾い読みする練習が必要でした。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

登録したのは1学期12単位でした。このクラス以外にはアルゼンチンタンゴやゴルフのクラス、公共政策大学院の授業を聴講していました。

④学習・研究面でのアドバイス

今考えると、課題に追われてあまり活動的ではなかったのもっと友人たちと交流しておけば良かったと思います。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

自分の友達グループが、欧米文化育ちの人達で構成されていたため、はじめは疎外感が強くあり、語学能力等でも引け目を感じていましたが、一人ひとりと話すことで自分にとって居心地の良い場所になりました。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

プログラムでお勧めされていた留学生寮に住んでいました。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

乾燥した気候のためか、生活を始めて2、3ヶ月は肌に湿疹等ができて、赤くなったり痒くなったりしていました。保湿クリームはAveenoがお勧めです。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

ホームレスがキャンパスの周囲に多く、治安としてはいいとは言えませんが、問題なく過ごすことができました。低血圧でEmergency Roomを利用し尿検査等に関する文化的な違いに驚きました。また25万円ほどの請求がきて保険が降りるか暫く心配でした。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

寮費を別として7万ほど(交友費や旅行費用)

・留学に要した費用総額とその内訳

総額

約470万円

授業料200万円

寮費150万円

プログラム費用や保険料など50万円

航空券代20万円

冬休み、春休み、各休みにおける旅行費40万円

寮以外での食費、交友費、交通費30万円

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

帰国後に短期留学支援奨学金として21万円を頂きました。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

スポーツ活動

ゴルフバックを持参して行き、毎週IHouseの裏のPublic Golf Courseでゴルフレッスンを受けていました。

アルゼンチンタンゴを毎週踊っていました。

文化活動面

IHouseのProgram Officeより感謝状を頂きました。季節ごとのコンサートでのダンスや歌、またSpring Fest という文化イベントにおけるファッションショー、サンフランシスコ総領事館の方々を招いて日本料理のCutting Performance、実家の呉服屋より浴衣二着を寄付したことなど、一連の貢献が評価されました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

特に利用しませんでした、アクセスしやすい状況にあるようでした。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館は大きくて広く、たくさんあり、とても勉強しやすい環境でした。食堂はキャンパス内には特にありませんが、寮の食事は野菜が豊富なので栄養面で困ることはありませんでした。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

留学期間中にボストンキャリアフォーラムにおいて就職活動を行いました。海外留学生を求めている企業が集まっているため、自分の意識と合っている就職先を見つけやすい状況にあり、とても良かったと思います。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

留学中は勉強とES提出やWEBテストの両立に苦労しましたが、友人に支えられました。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

3.公的機関(機関名: 日本政策投資銀行)

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

米国の大学生はよく勉強するので、授業に対する姿勢が日本の大学生と全く違います。成績や履修した授業が就職に結びついているので、真剣に授業を選びます。成績の付け方も明白に提示されており、フェアな競争環境です。必ずディスカッションの授業があり、発言しないことは貢献していないとみなされます。恥ずかしさや予習不足から発言できないことが多くあり、最初の学期は挫折感を味わいましたが、次の学期では自分の成長が目に見えるようにわかりました。帰国して振り返るとこういった環境で一生懸命勉強したことに対して、達成感と自信を持つことができ、とても意義のある濃い1年間が過ごせたと思います。また、人生を帰るような人との出会いもあり、多少コストがかかっても行くべきであったと思います。自分の成績の不足のために奨学金の支給がなく、両親に申し訳ない気持ちがありました。1、2年生よりこういったことを見越して勉強しておくべきだったと後悔しています。

②留学後の予定

夏学期に途中から参加し、秋卒業後、10月より就職する予定です。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

就職先を決める前に一度留学するべきだと思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。